

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2026年5月8日

株式会社ナガセ

東進ハイスクール・東進衛星予備校

【東進進学情報 vol.520】2026年度大学入試結果分析②

26年 私立大一般選抜 志願結果まとめ

早慶上理・明青立法中・関関同立では、立教・上智・東京理科・関西で大きく増加

東進ハイスクール・東進衛星予備校などを運営する株式会社ナガセ(本社:東京都武蔵野市 代表取締役社長 永瀬昭幸)は、独自の入試分析や最新の大学・入試情報をまとめた「東進進学情報」を月2回発行しています。東進生はもちろん、高校の先生など進路指導に携わる皆様にタイムリーにお届けいたします。

2026年5月1日号・vol.520の特集は「2026年度大学入試結果分析②(私立大学)」。私立大一般選抜の志願状況の最終結果をまとめています。

【今号のピックアップ】

2026 主要 13 私立大・一般選抜の最終志願状況を分析

本特集では、2026年度の私立大一般選抜の志願状況について、最終結果をまとめている。関東は、早慶上理・明青立法中の9大学、関西は関関同立の4大学について、全体および学部別の志願状況を分析した。

13大学中10大学で、一般選抜の志願者が前年より増加。特に増加が目立つのは、立教大・上智大・東京理科大・関西大の4大学。減少は早稲田・明治・中央の3大学となった。15年間の志願者推移のグラフも掲載した。

また、本紙発行時点で志願者数を公表している233校について、地域別の志願者数集計も行った。年度ごとに集計大学数が異なるため単純な比較はできないが、直近3年の比較では、北海道、東京を除く関東、東京、東海、関西、九州・沖縄が連続で増加している。

【今号のサマリー】

①2026年度入試 私立大学志願者動向

主要13大学の志願者数は増加傾向。Web出願の普及や併願割引制度の整備が一因か

私立大学(集計対象233校)一般選抜の総志願者数は前年比112.3%(2025年度の前年度比は106.6%)。主要13私大(関東9校、関西4校)の一般選抜志願者数は104.1%。関東9大学は103.9%、

表1 主要私立大学(関東9大学・関西4大学)の志願者数の推移(一般選抜)

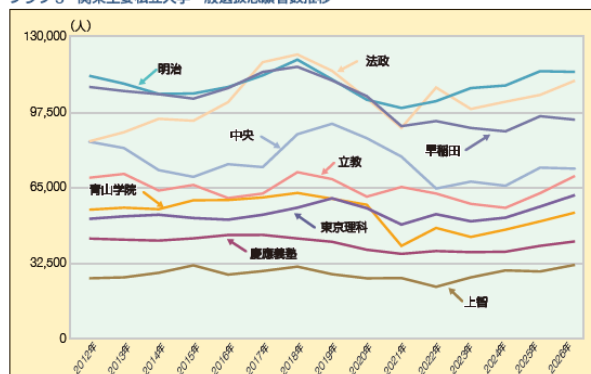
大学名	2024年	2025年	2026年	25/24比	26/25比
早稲田	89,420	96,938	94,438	107.3%	98.4%
慶應義塾	37,600	40,132	42,033	106.7%	104.7%
上智	29,669	29,096	31,946	98.4%	109.8%
東京理科	52,261	57,039	61,979	109.1%	108.7%
明治	109,169	116,323	116,012	106.6%	99.7%
青山学院	47,109	50,672	54,442	107.6%	107.4%
立教	56,496	62,829	70,194	111.2%	111.7%
法政	102,169	105,107	111,240	102.9%	106.8%
中央	65,993	73,803	73,363	111.8%	99.4%
関東の9大学の計	589,775	629,939	654,647	106.8%	103.9%
関西	72,588	79,835	86,962	110.0%	108.9%
関西学院	52,624	56,236	57,129	106.9%	101.6%
同志社	50,974	52,727	55,544	103.4%	105.3%
立命館	96,779	96,917	98,635	101.2%	101.8%
関西の4大学の計	271,966	285,715	298,260	105.1%	104.4%
合計	861,740	915,654	952,907	106.3%	104.1%

※各大学の発表したデータに基づいて作成

※上記の表には、上野大の国際教養学部は含まない

出典: 各大学ホームページ

グラフ3 関東主要私立大学一般選抜志願者数推移



関西4大学は104.4%。中でも増加が目立ったのは、関東では立教大(前年度比111.7%)や上智大(同109.8%)、東京理科大(同108.7%)で、関西では関西大(同108.9%)であった。

13大学中で最も志願者が多いのは明治大(115,012人)。志願者数が10万人を超えたのは、トップの近畿大174,789人(短期大学部を除く)をはじめ、千葉工業大160,170人、東洋大119,233人、明治大115,012人、日本大111,902人(短期大学部を除く)、法政大111,240人の6大学で、近畿大は2年ぶりの首位となった。

②2026年度入試 私立大学地域別志願状況(集計対象233校)

本紙発行時点で志願者数を公表している私立大学233校について、地域別に志願者数を集計

年度ごとに集計大学数が異なるため単純な比較はできないが、直近3年の比較では、北海道、東京を除く関東、東京、東海、関西、九州・沖縄は連続で増加。一方、甲信越では連続で減少となっている。

③2026年度 主要私立大学一般選抜志願状況

主要13大学の学部別状況まとめと、15年間の大学別志願者数推移グラフ

早稲田大、慶應義塾大、上智大、東京理科大、明治大、青山学院大、立教大、法政大、中央大、関西大、関西学院大、同志社大、立命館大のうち、総志願者数が増加したのは10校で、減少したのは早稲田大(前年度比98.4%)、明治大(同99.7%)、中央大(同99.4%)の3大学であった。各大学について、近年の傾向や、志願者数が伸びている学部を紹介。2012年～2026年の大学別志願者数推移グラフも掲載。

【東進進学情報をご覧くださいには】

・東進生の方…通っている校舎のホームルームや説明会、チームミーティング、掲示などで紹介しています。詳しく知りたい情報があれば、校舎の先生に聞いてください。

・高校の先生方…貴校の東進担当者にお問い合わせください。最新号および必要な情報が掲載された号をお届けいたします。東進担当者が不明な場合は、東進高校事業本部(0120-312-104)までお電話ください。

【株式会社ナガセについて】

1976年創立。日本最大の民間教育ネットワークを展開するナガセは「独立自尊の社会・世界に貢献する人財」の育成に取り組んでいます。

有名講師陣と最先端の志望校対策で東大現役合格実績日本一の「東進ハイスクール」「東進衛星予備校」、シェアNO.1の『予習シリーズ』と最新のAI学習で中学受験界をリードする「四谷大塚」、早期先取り学習で難関大合格を実現する「東進中学NET」、私大総合・学校推薦型選抜(AO・推薦入試)合格日本一の「早稲田塾」、メガバンク、大手メーカー等の多くの企業研修を担う「東進ビジネススクール」、優れたAI人財の育成を目指す「東進デジタルユニバーシティ」、いつでもどこでもすべての小学生・中学生が最新にして最高の教育を受けられる「東進オンライン学校」など、幼・小・中・高・大・社会人一貫教育体系を構築しています。

また、東京五輪で競泳個人メドレー2冠の大橋悠依をはじめ、のべ53名のオリンピックを輩出する「イトマンスイミングスクール」は、これからも金メダル獲得と日本競泳界のさらなるレベルアップを目指します。

学力だけではなく心知体のバランスのとれた「独立自尊の社会・世界に貢献する人財を育成する」ためにナガセの教育ネットワークは、これからも進化を続けます。

【本件に関する報道関係者の方からのお問い合わせ先】

株式会社ナガセ 広報部 担当:市村(いちむら)、海老根(えびね)

TEL: 0422-44-9001 Mail: pub@toshin.com